

東京 FAXニュース 2018 9.28 No. 72 JR東労組東京地本

東地申6号
9月28日開催

平成30年度秋の輸送商品に関する申し入れ団体交渉開催！

団体交渉開催にあたり、地本から主張を述べる！

臨時列車の設定は、乗務員の労働条件の大きな変更である！波動業務であり、臨時列車の設定の実績から次年度の枠数が決定されることから労使で議論が必要な事柄だ！真摯な議論を要請する！

1. 平成30年度秋の輸送商品において臨時列車を設定した、新幹線・在来線の基本的な考え方を示すこと。また、各方面別の新幹線・特急・快速列車の設定本数を示し、前年と比較した増減数を示すこと。

【会社回答】

三連休を中心に定期列車の補完輸送列車を設定し、お客さまのご利用促進及び収入確保に努めていく考えである。なお、臨時列車の設定本数は前年と比較し減少している。

主な議論

- 【組合】臨時列車本数が減少していると回答があるが、考え方を示すこと。
- 【会社】新幹線で△300本、在来線で△50本だが、ダイヤ改正で臨時列車を定期化したため臨時列車の設定が減少した。定期と臨時を合わせれば昨年度と比較し100%である。
- 【組合】臨時列車を設定した基本的な考え方を具体的に示すこと。
- 【会社】昨年度と比較し、土休日が2日少ないため、曜日配列に合わせてご利用の多い日に補完して臨時列車を設定した。
- 【組合】特急・快速以外での臨時列車の設定は？
- 【会社】埼京線・中央緩行線において、終電の混雑緩和を設定している。また、ハロウィン（10月31日）において、昨年同様、ホームの混雑緩和を目的として山手線外回り（池袋～池袋）一周を設定している。

列車設定増減数（昨年度比）

新幹線	在来線特急	在来線快速
東北：△100	東海 道：△27	東海 道：+4本
上越：△17	中央：△14	中央：△23本
北陸：△193	常磐：△11	常磐：△2本
	房総：△9	房総：△9本
	日光・鬼怒川：+4	日光・鬼怒川：なし

2. 各乗務員区において計画している枠数を月ごとに示すこと。

【会社回答】

臨時列車の設定に基づき、効率的な運用を勘案し行路作成している。

注目！各乗務員区所における月別の手配数

車掌	10月		11月		運転士	10月		11月	
	前	後	前	後		前	後	前	後
東京車掌区	94	89	137	105	田町運転区	84	85	114	87
上野車掌区	36	17	58	44	上野運転区	22	10	43	20
新宿運輸区	42	36	20	26	田端運転所	2	0	2	0
					新宿運輸区	0	0	0	0

(平成29年度実績→平成30年度手配数)

*池袋運輸区は昨年同様、ハロウィン(10月31日)の日に臨時行路+1(運転士・車掌)